

第 5 章 計画の推進体制

1 推進体制

市民一人ひとりの健康づくりを支援するためには、地域の団体や、事業者、関係機関等との連携をさらに強化し、市全体で総合的、効果的に推進していくことが重要です。

そのために、広報紙やホームページ、各種関連事業等、あらゆる機会を通じて、本計画で示した基本目標及び基本方針、それぞれの取組について周知啓発を行い、健康づくりに関する意識や意欲を高めるための普及啓発や情報提供等を実施し、市民の健康づくりを推進していきます。

2 市民・関係機関などの役割

(1) 自助

市民の役割

いつまでも住み慣れた地域で、心身ともに元気で、生き生きと生活するためには、市民一人ひとりの健康的な生活習慣についての理解と実践が大切です。「自分の健康は自分で守る」という意識と、食生活、運動、喫煙等、健康づくりに関する正しい知識をもち、予防に取り組むとともに、定期的に「健（検）診」を受ける等、自らの健康状況を確認します。

(2) 互助・共助

①家庭の役割

家庭は、健康的な生活習慣を身につけるための基礎を育むとともに、その生活習慣を次世代へ繋げる大切な場です。家庭（家族）で、お互いの健康を気遣い、支え合います。

②地域の役割

市民一人ひとりの健康づくりを推進するため、自治会等の地域団体、NPO や学校等がお互いに支え合い、相互の繋がりを強めることで地域全体の健康度を高め、健康なまちの実現を目指します。

③学校の役割

心身ともに著しく成長する時期に、集団生活を通じて、子どもたちが基礎体力や健康的な生活習慣を身につけるよう健康教育を充実していきます。

④健康関係団体・機関の役割

市民の健康づくりのため、保健、医療等の健康関係団体・機関の専門的な知識や経験が十分に活用されることが必要です。

市民や他の団体、行政等と緊密な連携を図り、情報の共有化や協力体制の充実を進めます。

⑤事業所・職場の役割

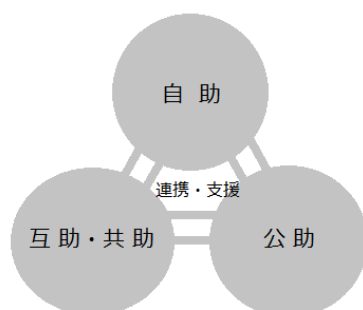
従業員等の心身の健康管理を積極的に推進し、労働環境の整備・充実を図ります。

(3) 公助

市は本計画の進捗管理を行うとともに、市民一人ひとりの健康づくりに関する諸施策を実施する役割があります。保健、福祉、教育、産業等の関係各課が協力・連携をしていくとともに、鳥取県や関係機関・団体等とも連携を図り、それぞれの部門と情報や目的を共有しながら、市民の健康づくりを推進していきます。

3 行政と関係機関の連携

企業や市民団体をはじめ、医師会、歯科医師会、薬剤師会等、様々な関係機関が、市民一人ひとりの健康づくりを支援するために、主体的な取り組みを行うと同時に、健康づくりに関する意識の普及啓発や情報の提供等を効果的に行えるよう、行政と関係機関が連携して市民の健康づくりを支えます。

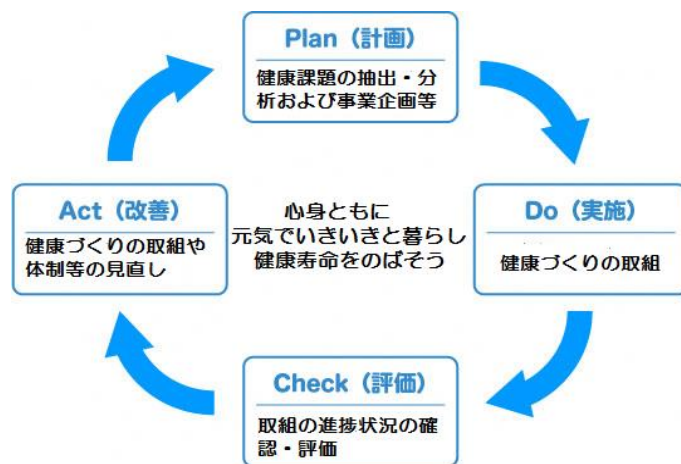


4 進捗管理と評価

(1) 計画の進捗管理

7つの分野の目標、達成要件および4つのライフステージごとの取り組み、評価指標を設定することによって、計画の基本目標である「心身ともに 元気でいきいき暮らし 健康寿命をのばそう」の達成を目指します。

計画の進捗状況の確認にあたっては、境港市健康づくり推進計画評価委員会を設置し、継続的に評価・改善を行っていきます（PDCA サイクル）。なお、現状把握のための「健康づくりに関するアンケート調査」を実施し、その結果を活用していきます。



(2) 評価指標一覧

【全体】

指標	現状値（年度）		目標値	出典
	市	県		
健康寿命の延伸	(R2) 男性：79.86 歳 女性：84.37 歳	(H26) 男性 79.74 歳 女性 84.39 歳	伸ばす	鳥取県元気な人づくり行動計画

1 食生活・栄養

アウトカム指標
 アウトプット指標

指標	現状値（年度）				目標値	出典
	市		県			
1日2回以上、主食・主菜・副菜の揃った食事を する人の割合	(R5) 50%		(R4) 53.4%		60% 以上	健康づくりに関するアンケート、食のみやこととり～食育プラン（第4次）
朝食を食べる割合	(R5) 幼児期	97%		97%	100%	幼児の生活習慣と食に関するアンケート、食事と生活についてのアンケート (R6)鳥取県学校栄養士協議会、健康づくりに関するアンケート、食のみやこととり～食育プラン（第4次）
	(R5) 小学5年生	85%	(R6) 小学5年生	82%	90% 以上	
	(R5) 中学2年生	78%	(R6) 中学2年生	85%		
	(R5) 成人男性	82.2%	(R4) 成人男性	82.7%	90% 以上	
塩分を意識している人の割合	(R5) 69.7%		—		増加	健康づくりに関するアンケート（※食品購入時などに、塩分控えめを「意識している」「少し意識している」と回答した方）
地域の産物や旬の食材を知っている人の割合	(R5) 77.6%		(R4) 73.8%		80%	食のみやこととり～食育プラン（第4次）
食育の講話と料理教室の実施回数	(R5) 妊娠期：2回 乳幼児期：54回 学齢期：356回 成人期：39回 高齢期：39回		—		増加	—

地元食材を題材にした 講話と料理教室の実施 回数	(R5) 乳幼児期：66 回 学齢期：46 回 成人期：5 回	—	増加	—
--------------------------------	--	---	----	---

2 運動・身体活動 アウトカム指標 アウトプット指標

指標	現状値（年度）		目標値	出典
	市	県		
運動不足と感じている 人の割合	(R5) 68.4%	—	減少	健康づくりに関するア ンケート
運動を心がけている人 の割合	(R5) 50.5%	—	増加	健康づくりに関するア ンケート
定期的に運動する人の 割合 (1 日 30 分週 2 回、1 年以上継続している人)	(R5) 24.4% 男性：32.0% 女性：18.5%	(R4) 22.5% 男性：23.0% 女性：22.1%	30% 以上	健康づくりに関するア ンケート、国民健康・栄 養調査
特定健診受診者のうち、 定期的に運動する人の 割合	(R5) 35.9%	(R5) 36.3%	増加	KDB システム
体育施設利用述べ人数	(R5) 174,205 人	—	増加	
運動に関する啓発回数、 講座回数、参加者数	(R5) 全体：1 回、165 人 公民館講座：342 講 座、5767 人 成人期：1 回、10 組 高齢期：フレイルチェ ック等 1,210 人 筋力向上トレーニング 2 コース、その他 DVD 等配布、フレイ ルサポーター58 人	—	増加	—

3 こころ・休養 アウトカム指標 アウトプット指標

指標	現状値(年度)		目標値	出典
	市	県		
自死者数・自殺死亡率の減少	(R4) 自死者数：2人 自死死亡率：5.3	(R4) 自死者数：80人 自死死亡率：15.3	減少	人口動態統計
自己肯定感や自己役立感について	(R5) ・自分にはよいところがある 小学6年生：92.0% 中学3年生：82.1% ・将来の夢や希望を持っている 小学6年生：81.2% 中学3年生：67.4% ・人の役に立つ人間になりたいと思う 小学6年生：97.6% 中学3年生：96.4%	(R5) ・自分にはよいところがある 小学6年生：84.3% 中学3年生：80.5% ・将来の夢や希望を持っている 小学6年生：81.2% 中学3年生：66.3% ・人の役に立つ人間になりたいと思う 小学6年生：96.7% 中学3年生：95.3%	増加	全国学力・学習状況調査 (児童生徒質問紙)
22時以降に寝る幼児の割合(3歳児)	(R5) 35.1%	(R5) 34.2%	減少	3歳児健診統計
23時以降に寝る児童の割合(小学6年生)	(R5) 29.1%	—		いのちとこころのプロ ジェクト事業「こころと 身体の健康アンケート」
睡眠による休養を十分に とれていない人の割合	(R5) 23.4% 男性：19.3% 女性：26.5%	(R4) 22.6% 男性：23.2% 女性：22.0%	15% 以下	健康づくりに関するア ンケート、県民健康栄養 調査
1日の平均睡眠時間が 6時間未満の人の割合	(R5) 37.2% 40代：51.9% 50代：45.7%	(R4) 36.4% 40代：53.8% 50代：53.1%	減少	健康づくりに関するア ンケート
普段、ストレスを感じる ことが大いにある人の 割合	(R5) 12.8% 男性：11.9% 女性：13.4%	(R4) 11.6% 男性：9.5% 女性：13.4%	10% 以下	健康づくりに関するア ンケート、県民健康栄養 調査

指標	現状値(年度)		目標値	出典
	市	県		
ストレスや悩みがある とき、自分の気持ちを聞 いてくれる人がいない 人の割合	(R5) 18.1%	—	減少	健康づくりに関するア ンケート
こころの相談窓口を 知っている割合	(R5) 39.6%	(R4) 39.2%	増加	健康づくりに関するア ンケート、県民健康栄養 調査
うつ病の症状について 知っている人の割合	(R5) 18.3%	(R4) 17.9%	50%	健康づくりに関するア ンケート、県民健康栄養 調査
ゲートキーパーについ て知っている人の割合 (意味も知っている・意 味は知らないが言葉を 知っている)	(R5) 21%	(国 R3) 12.3%	30%	健康づくりに関するア ンケート、自殺対策に関 する意識調査
学校以外でインターネ ットを平日 3 時間以上 する児童の割合 (小学 6 年生)	(R6)	—	減少	いのちとこころのプロ ジェクト事業「こころと 身体健康アンケート」
こころに関する啓発(出 前講座等)の回数と人数	(R5) 出前講座等 ：6 回、409 人 ちらし配布等 ：27,507 人	—	増加	—
ゲートキーパー養成講 座修了者数	(R5) 83 人	—	200 人 以上	—

4 喫煙・飲酒



アウトカム指標



アウトプット指標

指標	現状値（年度）		目標値	出典
	市	県		
喫煙する人の割合 （喫煙をやめたい人がやめる）	(R5) 男性：22.3% 女性：4.3%	(R4) 男性：26.7% 女性：5.3%	男性 20% 女性： 3%	健康づくりに関するアンケート、国民生活基礎調査
妊娠中の喫煙する人の割合	(R5) 女性：1.0%	(R4) 女性：1.7%	0%	母子手帳交付時のアンケート
妊婦・家族の喫煙状況	(R5) 40.1%	(R4) 32.3%	減少	母子手帳交付時のアンケート
未成年者・妊婦のいるところで吸わない人の割合	(R5) 90.4%	(R4) 85.0%	100%	健康づくりに関するアンケート、県民健康栄養調査
多量に飲酒する人の割合（3合以上）	(R5) 8.9% 男性：10.3% 女性：5.9%	(R4) 6.7% 男性：8.3% 女性：3.8%	男性： 3.0% 女性： 0.2%	健康づくりに関するアンケート、県民健康栄養調査
毎日飲酒する人の割合	(R5) 15.7%	(R4) 16.8%	減少	健康づくりに関するアンケート、県民健康栄養調査
妊娠中の飲酒者の割合	(R5) 0.5%	(R4) 0.3%	0%	3・4 か月健康診査票 母子保健事業の実施状況等調査
飲酒量の適量を1号未満と認識している割合	(R5) 54.6%	—	増加	健康づくりに関するアンケート
企業への啓発回数	(R5) 0回	—	増加	—
喫煙・飲酒に関する啓発回数・人数	(R5) 4回 613人	—	増加	—

5 歯・口腔 アウトカム指標 アウトプット指標

指標	現状値（年度）		目標値	出典
	市	県		
一人平均残存歯数 （60 歳代で 24 歯以上の割合）	(R5) 58.4%	(R5) 68.4%	70%	健康づくりに関するアンケート
過去 1 年間に歯科健診 （検診）を受診した者の割合	(R5) 34.6%	(R5) 52.1%	50%	健康づくりに関するアンケート
むし歯のない子どもの割合（1.6 歳児） （3 歳児）	(R5) 99.5% 93.7%	(R5) 99.2% 91.8%	100% 95%以上	鳥取県西部歯科保健推進協議会
むし歯のない児童の割合（小学生）	(R5) 64.1%	(R5) 57.5%	50%	学校保健統計調査
むし歯のない生徒の割合（中学生）	(R5) 64.9%	(R5) 67.4%	70%	学校保健統計調査
仕上げ磨きをしている 3 歳児の割合 （毎日みがく）	(R5) 92.7%	—	100%	3 歳児健診歯科アンケート
よく噛んで食べる子どもの割合	(R3) 小学 5 年生：66% 中学 2 年生：54%	(R5) 小学 5 年生：71% 中学 2 年生：59%	80%以上 70%以上	鳥取県学校栄養士協議会
咀嚼良好者の割合 （何でも噛めると回答した人）	(R5) 80.0%	(R5) 70.0%	85% 以上	特定健診質問票
歯ブラシ以外の補助用具を使っている人の割合	(R5) 43.3%	(R4) 30.7% （30～50 代）	60% 以上	健康づくりに関するアンケート、県民歯科疾患実態調査

6 生きがい・社会参加 アウトカム指標 アウトプット指標

指標	現状値（年度）		目標値	出典
	市	県		
誰かのために何かをしたいと思う人の割合	(R5) 24.0%	—	増加	健康づくりに関するアンケート
組織活動の参加状況	(R5) 300人	—	増加	健康づくりに関するアンケート
子育てサークル数 子育てサークル参加者数	(R5) 1 団体 25 人	—	増加	—
公民館講座数 公民館講座参加者数	(R5) 337 講座 5,650 人	—	増加	—
市民ボランティア登録者数	(R5) 17 団体 741 名	—	増加	—

7 疾病の発症・重症化予防 アウトカム指標 アウトプット指標

指標	現状値(年度)		目標値	出典
	市	県		
標準化死亡比	(R4) がん男性 117 がん女性 102.7 脳血管疾患男性: 122 脳血管疾患女性: 106	—	100 以下	鳥取県
介護が必要となった原因のうち「骨折転倒」の割合	(R5) 14.3%	—	減少	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書
特定健診のうち、血圧値の有所見該当者の割合（男性）	(R4) 収縮：57.7% 拡張：34.2%	(R4) 収縮：55.1% 拡張：29.4%	減少	KDB システム
特定健診のうち、血圧値の有所見該当者の割合（女性）	(R4) 収縮：54.7% 拡張：34.2%	(R4) 収縮：53.7% 拡張：21.2%	減少	KDB システム

指標	現状値(年度)		目標値	出典
	市	県		
特定健診のうち、血糖値・HbA1cの有所見該当者の割合（男性）	(R4) HbA1c：37.2% 血糖値：36.5%	(R4) HbA1c：32.8% 血糖値：43.4%	減少	KDB システム
特定健診のうち、血糖値・HbA1cの有所見該当者の割合（女性）	(R4) HbA1c：24.8% 血糖値：32.5%	(R4) HbA1c：22.2% 血糖値：40.0%	減少	KDB システム
特定健診受診者のうち、メタボリックシンドローム該当者の割合	(R4) 男性：30.6% 女性：10.6%	(R4) 男性：31.7% 女性：11.3%	減少	KDB システム
特定健診の受診率	(R5) 29.9%	(R5) 35.4%	60%	法定報告値
特定保健指導の受診率	(R5) 18.3%	(R5) 27.5%	45%	法定報告値
人工透析患者数（腎症による）（国保）	(R4) 3人	—	3人 以下	特定疾病療養受給者証 交付台帳
がん検診受診率	(R5) 胃がん検診 27.5% 大腸がん検診 28.8% 肺がん検診 30.2% 乳がん検診 18.7% 子宮がん検診 26.6%	(R5) 胃がん検診 26.0% 大腸がん検診 28.7% 肺がん検診 29.1% 乳がん検診 15.4% 子宮がん検診 24.6%	70%	地域保健・健康増進事業 報告

指標	現状値(年度)		目標値	出典
	市	県		
がん検診精密検査受診率	(R5) 胃がん検診 84.1% 大腸がん検診 75.6% 肺がん検診 88.0% 乳がん検診 95.3% 子宮がん検診 80.9%	(R3) 胃がん検診 84.8% 大腸がん検診 85.4% 肺がん検診 91.7% 乳がん検診 95.7% 子宮がん検診 87.5%	95%	地域保健・健康増進事業報告
骨密度検査の受診率	(R5) 19.7%	—	増加	—
骨密度検査精密検査受診率	(R5) 62.9%	—	100%	—
普段から意識して血圧測定を行っている人の割合	(R5) 37.7%	—	増加	健康づくりに関するアンケート
自分の適性体重を知っている人の割合	(R5) 63.8%	—	増加	健康づくりに関するアンケート
検診の予約企業数	(R5) 27 事業所	—	増加	—
健診（検診）の啓発回数・人数	(R5) 44 回 10,919 人	—	増加	—

（３）評価の考え方とスケジュール

本計画では、令和７年度からの６か年計画ですが、令和１２年度の目標達成に向けて、より効果的な施策の推進を図るため、評価指標の確認を行い、施策の成果等を把握します。